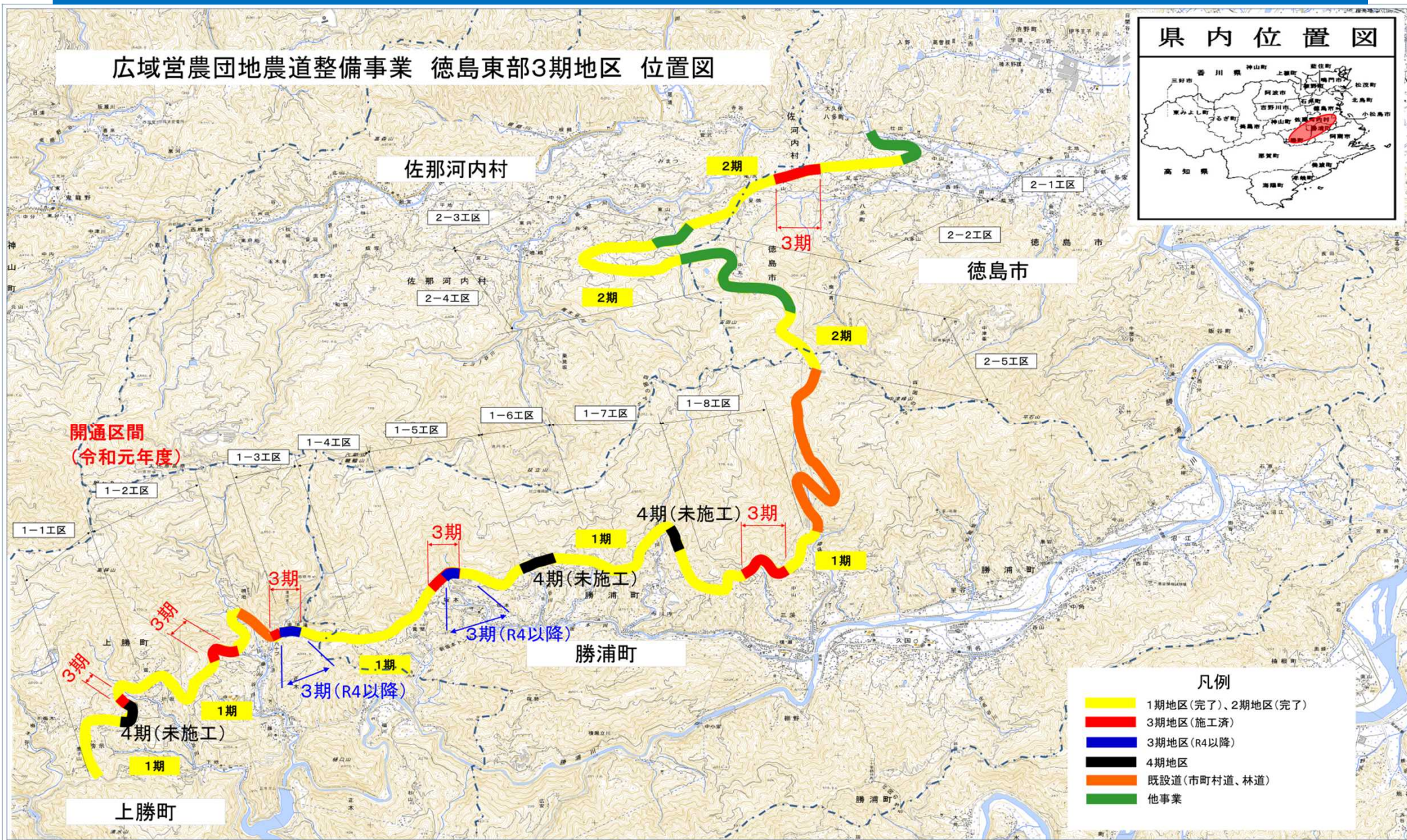


再評価【番号3】

広域営農団地農道整備事業
徳島東部3期地区

1. 事業概要

広域営農団地農道整備事業 徳島東部3期地区 位置図



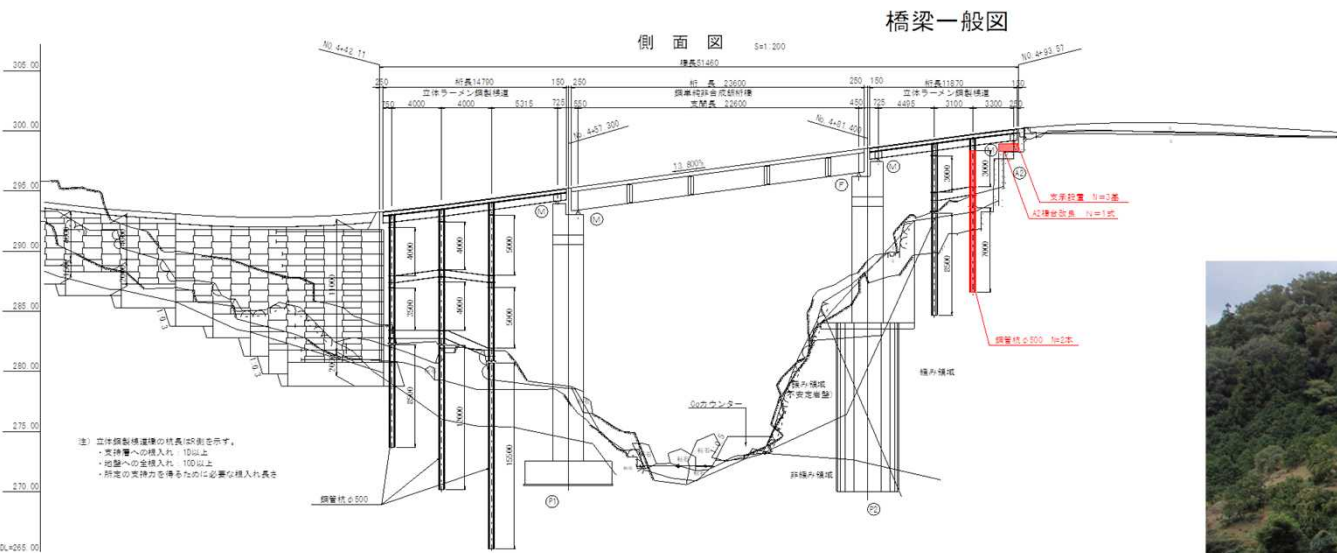
2. 前回評価時以降の状況(1)



完成区間

モノレールが設置されたり、農道から樹園地への乗り入れが可能なり、営農の利便性が向上している。

2. 前回評価時以降の状況(2)



3. 地区の状況(1)

果樹（蜜柑）



果樹（花卉）



営農の状況

農道沿線では果樹（蜜柑）や花卉（ナンテン）の栽培が行われ、広域農道を利用して、集出荷場へ搬出されている。

（1 - 2 工区）

3. 地区の状況(2)



営農状況

農道を利用することにより、

「通作」や「農産物・資材など」の運搬に要する経費が節減されている。

(1 - 2工区)

3. 地区の状況(3)



緊急輸送路を補完する農道

災害時には集落の孤立化を防止し、緊急輸送路を補完する道路としての役割を期待される

(1 - 5 工区)

多面的効果

農道整備によって、農地保全や山腹崩壊の抑止が図られる

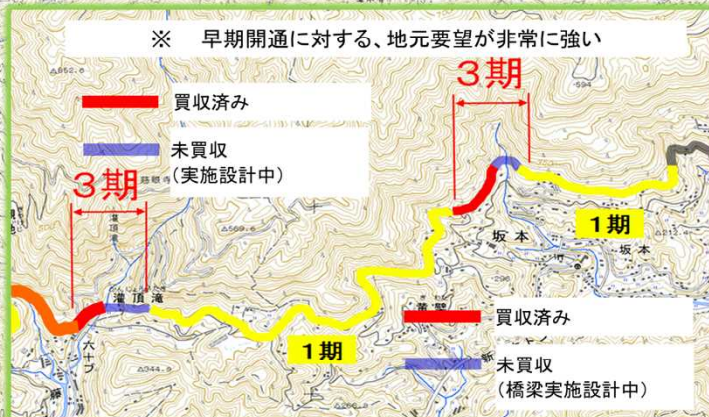
(1 - 2 工区)

4. 用地取得状況

広域営農団地農道整備事業 徳島東部3期地区 位置図

用地買収状況図

※ 早期開通に対する、地元要望が非常に強い

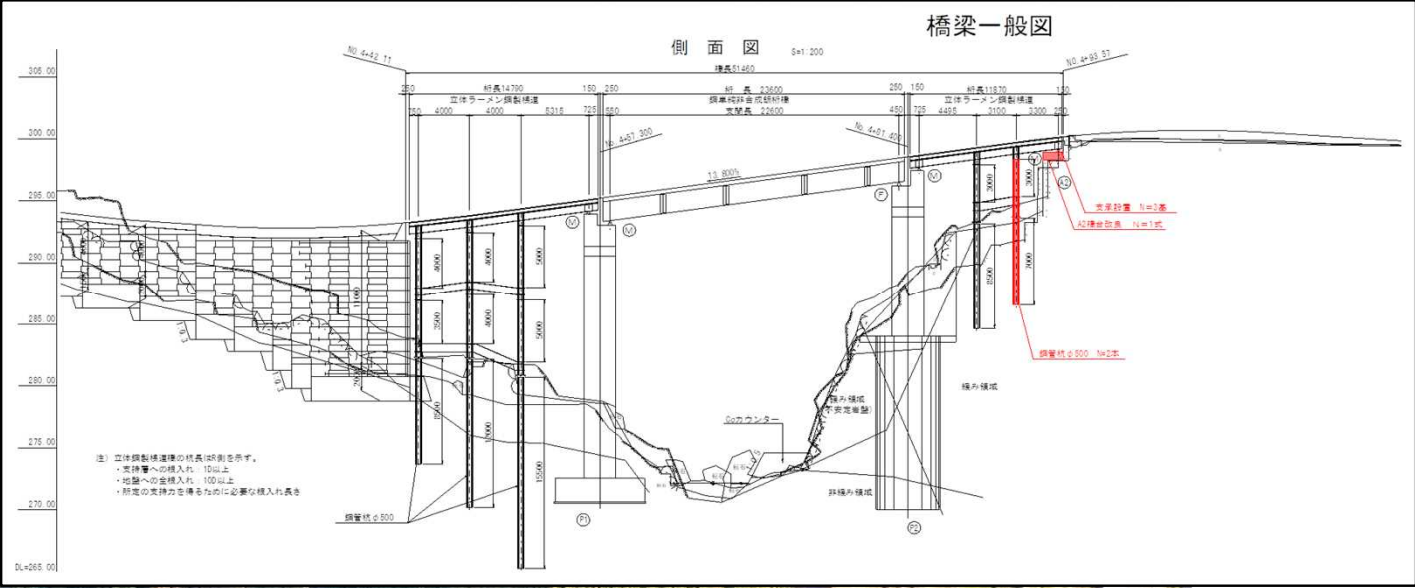
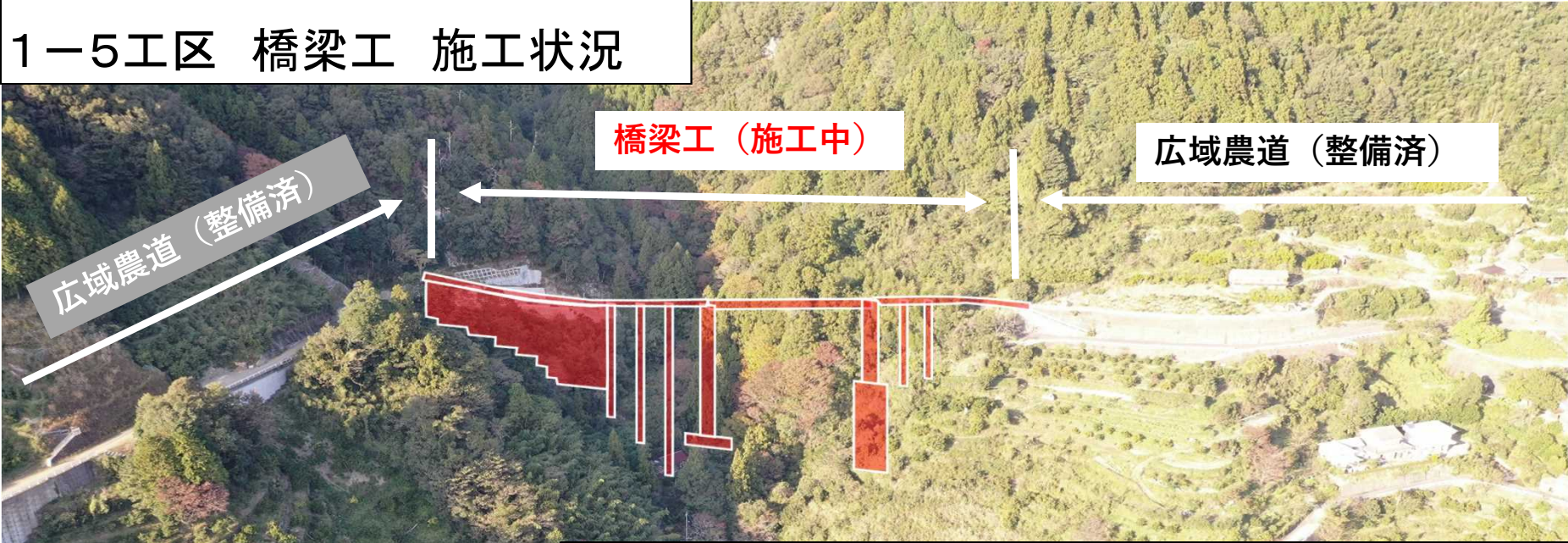


凡例

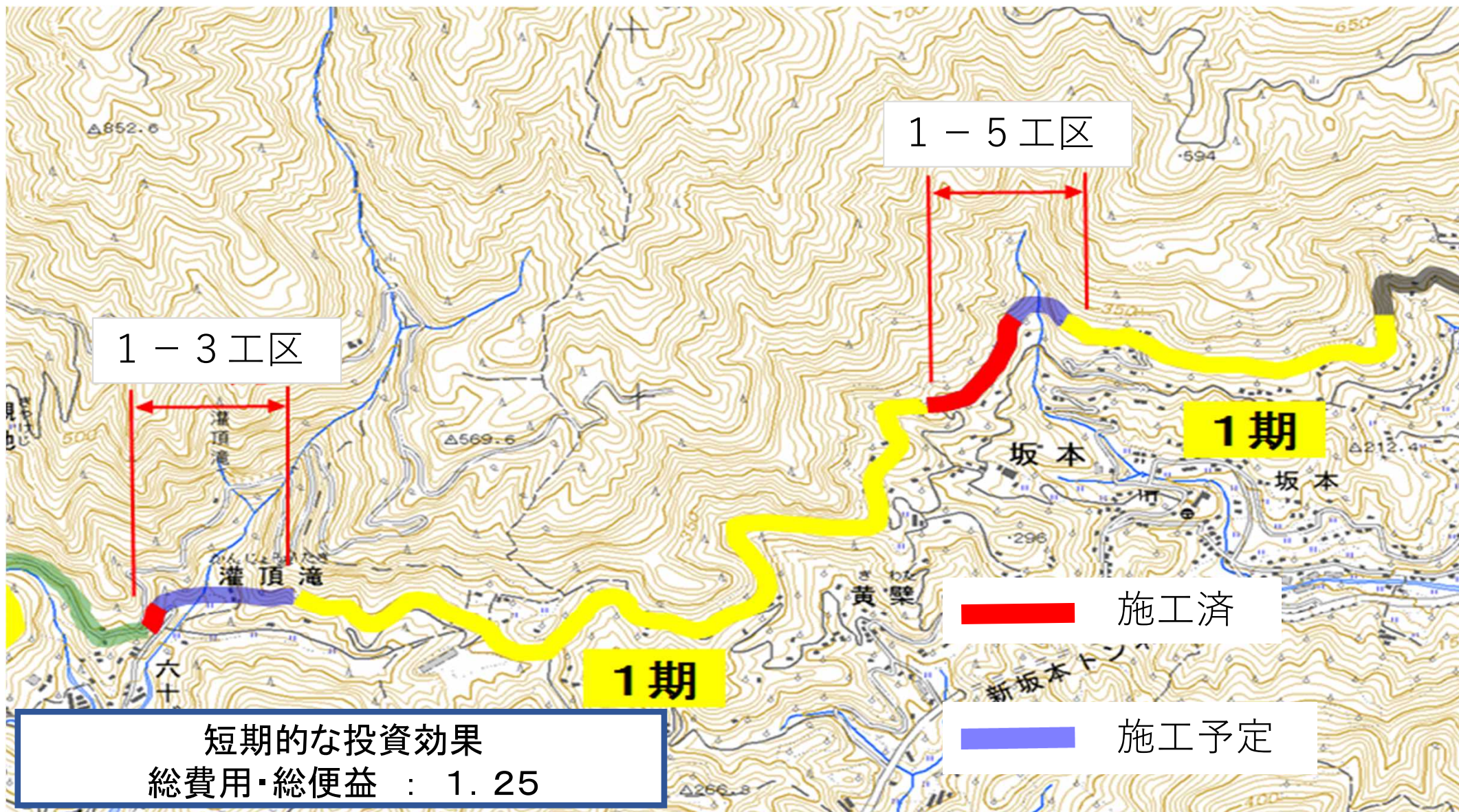
- 1期地区(完了)、2期地区(完了)
- 3期地区(施工済)
- 3期地区(R4以降)
- 4期地区
- 既設道(市町村道、林道)
- 他事業

5. 残事業と今後の見通し

1-5工区 橋梁工 施工状況



6. 短期的な投資効果



短期的な投資効果
総費用・総便益 : 1.25

7. 現時点における事業効果の検証

1 効果発現状況の検証



2 社会経済情勢の変化

3 現時点における事業効果の検証

総費用・総便益 : 1.20

8. 費用対効果

総便益

- 1 維持管理費節減効果
- 2 営農経費節減効果
- 3 営農に係る走行経費節減効果
- 4 一般交通等経費節減効果
- 5 多面的機能の発揮に関する効果

814億2,465万9千円

総費用

事業効果発現に必要な費用

768億9,725万1千円

$$\text{総便益} / \text{総費用} = 1.06$$

■ 今後の対応方針（案）

事業継続